

平成23年度  
私立学校初任者研修 中国・四国地区研修会  
実施報告概要

本年度中国・四国地区初任者研修会は、岡山県岡山市のメルパルク岡山で8月8日(月)から10日(水)の3日間の日程で開催された。中国5県から82名、四国4県から42名の合計124名の参加者があった。

開会式では、当研究所の中川武夫所長が、私学教員としての心構えを学ぶこととともに、私学教員の仲間作り、ネットワーク作りにも努められたいと挨拶した。

また、岡山県私学協会・森靖喜会長からは、私学の現状を踏まえ研修に励んでほしいとの挨拶があった。

開会式に続いて、「私学人の使命」と題し、当研究所副理事長である広島県の如水館高等学校・山中幸平理事長による私学の成り立ちから今日の状況についての講演、また当研究所客員研究員を務める教育ジャーナリストの文化学園大学・野原明名誉教授による「教育の現状と私学の役割ー初任者教員に期待することー」と題する講演が行われた。初日夕刻には、教育懇談会が催され明日の分散会グループごとに紹介するなど交流が図られた。



前日の交流会での仲間作りもあり、初日の緊張感も解ける中、2日目は鳴門教育大学大学院・阪根健二准教授の「教師ほど素敵な仕事はない！」と題する講演から始まった。その後は終日生徒指導及び教科別の分散会であったが、各県の運営委員や地元岡山県の校長・教頭等の指導により活発な討論がなされた。



最終3日目は、学校法人美作学園・藤原修己理事長が「青少年の心の風景」と題し、子どもたちの言い分、子どもたちにとっての学校とは何か、何が教育の壁となっているのか、などについて講演を行った。その後、研修レポートの作成、閉会式が行われ、修了書の授与で全日程を終了した。



同地区初任者研修は、その開催地を中国地区及び四国地区が交互に担当・実施しており、次年度は四国地区が担当し愛媛県で開催される。